

永田町新潮流 平沢勝栄

俺がやらねば



慰安婦問題は、簡単には解決しそじない。

昨年の暮れ、東京で行われた日韓議員連盟の会合で、韓国のある国会議員は「日本が(2015年の)

日韓合意に基づき拠出した10億円は流用され、元慰安婦には渡っていない可能性がある」など、事実とは明らかに異なると思われる発言をしていた。発言したのは、元慰安婦

という人たちが生活する施設「ナムの家」の地域から選出された議員だ。この

慰安婦問題 韓国政府は市民団体と「線」を画せ

議員は、慰安婦像の設置などを行った「韓国挺身隊問題対策協議会」(挺対協)の影響を強く受けていると聞いた。

韓国では慰安婦や竹島の問題などが持ち上がり、

挺対協など北朝鮮との強い関係が指摘される市民団体が必ず出てくるという。

これらの市民団体は強硬な反日路線をとることで、国民から一定の支持を受けている。政府も、これらの市民団体の主張に配慮せざるを得ないという。だから

決「することを確認した日韓合意について「国民や元慰安婦は全く納得していない」と繰り返し述べていた。そして、韓国政府は新たな謝罪などの追加措置を日本に求めてきたのである。ソウルの日本大使館前に設置された慰安婦像につい

こうした市民団体と「線」を画すことが極めて重要となつてくる。市民団体の意見に耳を傾けることは必要だが、最後は国と国民の将来に責任を負う政府が決めるべきだ。市民団体の意向に振り回されたいなら、未来永劫(えいごう)、問

慰安婦問題などでゴールポストが何度も動かされてきたのである。

日韓議連の会合でも韓国の議員は、これらの団体の影響を受けているからか、「最終的かつ不可逆的に解

ても、明らかに国際法、そして韓国国内法に違反している。しかし、韓国政府は挺対協などに配慮してか、撤去に及び腰である。

問題は解決しないだろう。こうしたなかで、安倍晋三首相は平昌(ピョンチャン)冬季五輪開会式に出席する意向を明らかにした。主要国の首脳が欠席するなかでの出席だ。自民党の外

安倍首相は毅然とした姿勢を

交部会などでは「韓国に政治利用されるだけだ」「韓国に間違つたメッセージを送る」など、訪韓反対の声が相次いだ。党本部などにも国民から多くの反対があった。そうしたなかで安倍首相は、反対を押し切つての訪韓となる。韓国の文在寅(ムン・ジェイン)大統領に対し、日韓合意の履行を重ねて要求し、「1ミリたりとも動かさない」毅然とした姿勢を貫くことが必要だ。(自民党衆院議員)